



社会医療法人近森会

発行

2016年5月25日

# びろっば

# 6

# Vol.359

www.chikamori.com ● 高知県高知市大川筋一丁目1-16 〒780-8522 tel.088-822-5231 発行者●近森正幸 / 事務局●寺田文彦

6~8F	近森教育研修センター
5F	領域別看護実習室
4F	第2・第3教室 情報科学室・ゼミ室
3F	第1教室・ff Hall ゼミ室・研修研究室
2F	図書室・職員室・保健室
1F	受付・Lounge・相談室

近森病院附属看護学校

## 近森病院附属看護学校

### 新たな学び舎へ決意をこめて

近森病院附属看護学校

教務主任 竹村 多加



5月の新緑の若葉が輝く季節、旧近森オルソリハビリテーション病院が改築されて、白色を基調とした外観の、近森病院附属看護学校の新校舎へと生まれ変わりました。

1階には開放的な Lounge を設けて、学生たちが自由に交流できるようにしています。2階は職員室や図書室、

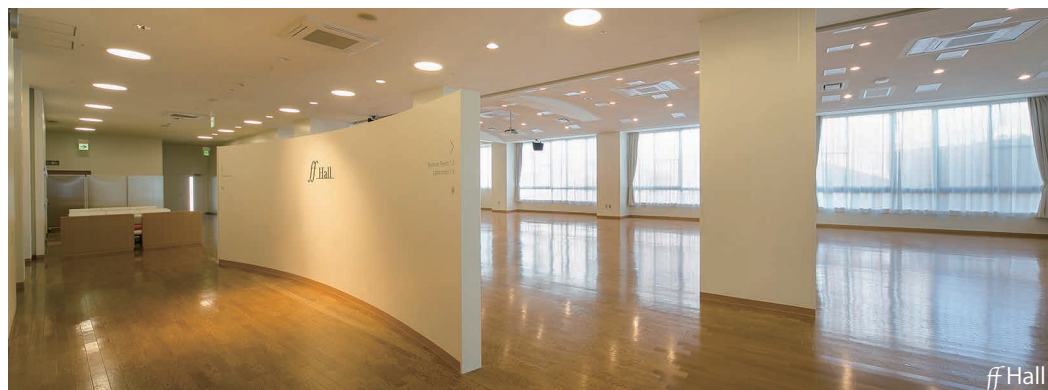
3階は250人ほどが交流できる ff Hall (エフエフホール) となりました。4階は教室や情報科学室、5階は実習室等となり、広い空間のもと伸び伸びと学習できる環境となっております。校舎を見た瞬間、わたしは心が躍らされました。

教職員一同、学生とともに新校舎の

ように真っ白な気持ちで頑張っていきたいと思います。なお、6~8階の上層階については、近森教育研修センターとして活用される予定です。

工事中および新校舎移転に当たっては、たくさんの皆様にご支援・ご協力をいただきありがとうございました。

たけむら たか



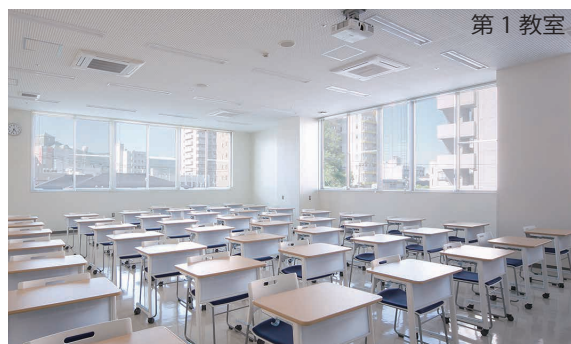
ff Hall



情報科学室



基礎・成人看護実習室



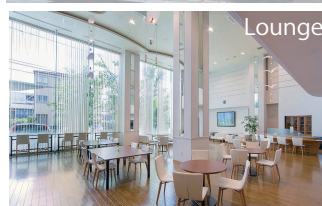
第1教室



クリティカルケア看護実習室 (模擬病室)



小児・母性看護実習室



Lounge



図書室



老年・精神・在宅看護実習室





近森病院透析科・腎臓内科

科長 吉村 和修

## 遺伝性腎臓疾患治療の最近

遺伝子異常が原因で末期腎不全になる病気の代表的なものに、多発性嚢胞腎があります。これは腎臓や肝臓に嚢胞という袋がたくさんでき、やがて腎機能が低下するという病気です。

現在国内では3万人程度の患者さんがいるとされ、透析患者さんの3～5%を占めます。多くは常染色体優性遺伝という遺伝形式で簡単にいうと両親のいずれかがこの病気の場合、その子供は男女関係なく50%の確率でこの病気を発症します。

これまで遺伝子異常に伴う先天性疾患のため積極的な治療はなく、腎不全の合併症治療や血圧のコントロールや食事制限などを行うしか方法はありませんでした。しかし最近利尿剤の1種であるトルバプタンの投与が嚢胞の増加を抑え、腎機能低下を改善することがわかり2014年3月には保険適応となりました。また2015年に

は難病指定となり、同治療における経済的負担が少なくなりました。遺伝子治療のような根本的な治療でないにせよ、これまで治療法がなかった遺伝性疾患に治療の可能性が見えたことは非常におおきな進歩です。

これより少し前ですが、ファブリー病という先天性代謝疾患にも酵素補充療法が使用できるようになり、先天性疾患にも徐々に治療の可能性が開かれてきていると思います。このような疾患をお持ちの方はぜひ一度専門医にご相談してみることをおすすめします。

よしむら かずのぶ



透析室

## 6月の歳時記

## ポリアン

写真・筆者

近森病院理学療法科  
科長 川淵 正敬



これまで、花には全く興味を持っていなかった私が、ふとした思いつきで、庭に花壇を造りました。その時に植えた花が、ポリアンでした。水やりや剪定など世話をしなければ、元気がなくなり、手を掛ければ掛けた分、赤く綺麗に花壇を彩ってくれます。子育てと同じだなと思ながら、



日々成長を見守っています。

かわぶち まさたか

## ハッスル研修医

### 決して怒ってはいません



初期研修医(2年次) 高崎 元樹

高知大学、近森病院たすきがけプログラムで今年の4月より近森病院の研修医として、多くの先生、同期、コメディカルスタッフの皆さまのおかげで日々充実した研修をさせて頂いています。

高知で25年間生まれ育ち、中高はハンドボール部、大学ではゴルフ部に所属していました。学生時代は暇さえあれば練習場やラウンドに行っていましたが、仕事を始めてからはめっきりゴルフをする機会もなくなってしまいました。そろそろゴルフをしよう!と思いながら休日は外に出ることもなく家で過ごすことがやめられません。

学生時代から、怒っている?愛想が悪い!と言われ続け、自分なりに改善するようにしてきました。だがしかし、生まれつきのもののように改善は乏しいですが、決して怖い人ではないので、ぜひ雑用でも何でも気軽に声をかけてください。

微力ではありますが近森病院の一員としてよりよい医療を提供できるように日々努力していきたいと思しますので、皆さまよろしくお願いたします。

たかさき もとき

## チームで 早期退院を目指す！

近森病院 8A 病棟  
看護師長 山下 佐和

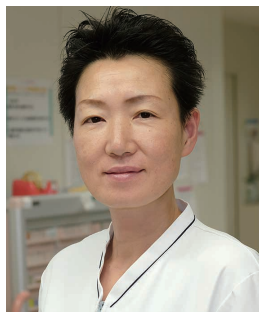
8A 病棟は消化器外科・呼吸器外科・乳腺甲状腺・泌尿器科・透析科の混合病棟で、手術目的の患者さんだけでなく、癌化学療法、ターミナル期の患者さんまでさまざまな病態の患者さんが入院されています。

病棟の構造は病床数 34 床、広部屋（4 人床）7 部屋、個室（トイレ付き）6 部屋となっています。近森病院の A 棟は免震構造で、病棟では一番高い 8 階にある病棟です。

私たち 8A 病棟看護師は、患者さんの安全を守り、離床の促進、異常の早期発見や合併症の予防、疼痛緩和や精

神的なサポートができるよう努めています。今年度の病棟目標は「チームで早期退院を目指す！」としました。看護師を中心に入院時から在宅状況や転院等について、個々の患者さんとご家族の要望を伺いながら、医師・看護師・理学療法士・歯科衛生士・ソーシャルワーカー等の多職種が協働し、社会復帰や在宅支援に向けた活動を推進したいと考えています。また、ストーマや糖尿病など専門的知識と技術をもった看護師とも連携して質の高い看護が提供できるよ

▼スタッフルームでカンファレンス中



取り組んでいきたいと思っています。

私はこの 4 月に外来センターより異動してきました。病棟スタッフが忙しい中でも笑顔でチームワークを大切にしてお互いに協力しあっている姿を見て元気をもらっています。

平均在院日数は、一般病棟のなかでは 11 日と短いですが、患者さんが安心して入院生活を送っていただくことができる、そんな病棟作りを目指していきます。 やました さわ

## 近森会バレーボール大会

5 月 20 日（土）に開催。優勝は「フラミンゴチーム」、おめでとう！



## 夏風邪



近森 正幸

して病院で仕事をしていたが、少し心配になり血液検査と CT をとってみると、炎症反応がはね上がり肝機能が少し悪くなって、回腸末端に腫れが見られた。どうもエンテロウイルス（腸管ウイルス）による夏風邪と発疹のようで、安静にするしかなかった。高熱が 4 日間、発疹が 5～6 日間続いた。

連休中はまるまる寝て過ごしたが、高熱が出たことで食事やお茶まで誤嚥することに気づかされた。わずかに数日寝ただけで、せっかく鍛えた筋肉も落ちてきた。高齢の患者さんが入院すると、しばしば嚥下が悪くなったり、廃用が進むのも無理からぬことだと実感した。

近森病院全面増改築五カ年計画で心身ともにたいへんな思いをしたことと、今回の診療報酬改定で、これまでの医療のあり方を変えていかなければならないという、心労が溜まっていたのかもしれない。

若いと思っていたが、古来稀な「古希」という厳然たる年齢を教えられ、これは神様がくださった休暇なのかもしれないと思ったことである。

理事長・ちかもり まさゆき

連休の初めはさわやかな五月晴れが続いていたので、屋上のテラスに咲く花を眺めながら、黄昏どきに妻とともにトワイライトシャンパンを楽しんでいた。

ところが、ゴールデンウィークの 5 月 3 日になって、突然 38.7℃の熱が出てきた。腹部の膨満感と喉も少し痛くなってきて、お腹や腰、太ももなどの柔らかい部分に発疹も出てきた。

それでも連休中は午前中マスクを



熱意あるみなさんと一緒に



近森病院呼吸器外科  
科長 廣橋 健太郎

今年度より近森病院に勤務しております。まだ日が浅いですが、「他部署・他科との垣根の低さ」、「フットワークの軽さ」を実感しております。

一つ例を挙げれば、これまで10年間で栄養士からもらった電話件数より、近森病院での1カ月の方がすでに多く電話をいただいております。

熱意あるみなさんと一緒に、より良い医療を提供できるよう頑張りたいと思います。

ひろはし けんたろう

## 本人主体の自宅訪問

近森オルソリハビリテーション病院  
医療相談室 小野川 剛史



退院にあたり自宅の環境に不安がある場合、患者さんの外出に病院スタッフが同行し自宅を訪問します。ときには、地域のケアマネージャー等が同行することもあります。

自宅では、「はよきて！手すりが欲しいがはここよ！」と、リハビリ中よりも頑張っただけで動いて家の中を案内してくれる方や、「半年ぶりに帰ったき、用事せないかん！」と、タンスの中を楽しそうに搜索する方など、病院では見ることができない「本人」を見ることができます。

これからここで生活していくのは「本人」です。ソーシャルワーカーは、本人主体で物事が決まり進んでいくよう、本人の「こうしたい！」という思

いに寄り添ったり、納得して物事が進んでいるかどうか、表情や言動に気を配り、確認するようにしています。

訪問を通して退院後の生活への不安が解消され、意欲的にリハビリに取り組み始めている姿を見たときに、いよいよ生活の再スタートに向けての準備が整ってきたんだな、という気持ちになります。

おのがわ つよし

## 近森オルソリハビリテーション病院

### 移動販売が始まりました。



① 5階談話室 13～15時30分  
大人気の「ウェーブ」のパンをどうぞ！



② 3、4階病棟 10～11時、15～16時  
セブンイレブン出張販売で便利に

## ワイン講座 ● 43

### ぶどう品種を知り、個性を探る 白ぶどう その20

#### スペイン篇 アルバリーニョ

スペインのガリシア州のリアス・バイシャス地区でアルバリーニョは、多く栽培されています。

「スペインで最も上質な白ワインの産地」。また、「海のワインと称される高貴な白ぶどうの産地」として高い評価を受けるリアス・バイシャスは、スペイン北西部にあるガリシア州に位置しています。

ガリシアといえば、四国のお遍路さんに似た、キリスト教の聖地であるサンティアゴ巡礼路の最終地としても知られています。

ガリシアに残る言い伝えによると、アルバリーニョは、中世の時代に、現在のドイツのライン河のほとりから、1人の修道士によってもたらさ

れたとされています。そのぶどうが、何世紀もの年月を経てガリシアの肥沃な土壌に育まれ、この土地独自のスタイルのワインが造られるようになりました。熟したリンゴや白桃を思わせる香り。程よい果実味が感じ取れ、キレのある酸が豊かです。海辺の産地らしいミネラルと、ほのかに塩気も感じられ、新鮮な魚介類や甲殻類との相性は抜群です。



鬼田知明（有限会社鬼田酒店代表）





## 第5回目が行われました

近森リハビリテーション病院  
院長代行 和田 恵美子

講師の川崎医療福祉大学学長  
椿原彰夫先生



5月15日(日曜)、  
第5回目のFIM講習会  
in 土佐を開催し、当日  
は119名の参加があり  
ました。

今年の診療報酬改定

で回復期リハビリテーション病棟の  
アウトカム評価の指標としてFIMが用  
いられることになり、その影響もあっ  
てか、237名のお申し込みをいただき  
ました。

今年も、川崎医療福祉大学学長の椿  
原彰夫先生に基調講演をお願いし、そ  
の後、院内講義等で研鑽を積んだ当院  
のスタッフが講師になり、講義をしま  
した。

5回目を迎え、当院の講師経験者も  
増え、院内全体で正しくFIMを使え  
ていることを実感しております。

今年度は10月にもう一度開催する  
ことが決定しました。また来年は、経  
験者コースを開催する予定ですので、  
ぜひご参加ください。

わだ えみこ

### リレー エッセイ

#### 我が子との休日

診療情報管理室 山崎 恵美



「ママ～早く～遊ぼうよ～」

働く母親にとっての休日は炊事・洗濯・掃除と、平日に出来なかったアイロンがけ…午前中に片付けようと必死な私を呼ぶ息子の声。家事の後の遊びの時間はあっという間に過ぎて一日が終わります。一人っ子の息子には母が遊び相手である。そんな息子もこの春で小学一年生。サッカー・野球・バトミントン・竹馬・鉄棒・縄跳び…成長に伴い遊びも沢山増えてきました。

高齢出産だった私にとって、息子との遊びが如何にきついか…察して貰えれば幸いです。職場の先輩ママさんの「小学校に入ったら、友達と遊んで母親と一緒に遊んでもらえなくなるよ～」と言うお言葉の元、今のうちに色々な遊びで子供と共に体を動かしてスキンシップを取り、友達と遊ぶ様に



なっても家に帰ってきたら外で遊んだ事を楽しそうに話してくれる様な、そんな関係でありたいと思います。

こんな風に私の両親も私達兄弟を育ててくれたんだと感謝しつつ、将来我が子にできるであろう子供にも親子での遊びを楽しみながらスキンシップを取ってほしいと思っております。近頃、虐待のニュースも多く



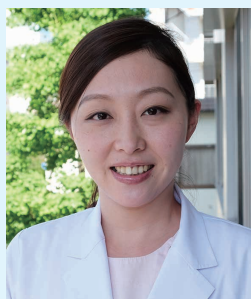
聞かれますが、我が子を愛おしいと思う気持ちは、母の世界共通の思いではないでしょうか。まだまだ田舎臭さの残るこの土地で、子育てを多に満喫している私であります。

やまさき えみ



まわし姿に  
魅せられて……

秘書課 下村 ルイ



物心ついた頃から、テレビに映るお相撲さんが大好きで……というわけではありませんでした。

前職中に仕事の都合で仕方なく、場所中は毎日大相撲中継を見ないといけませんでした。

テレビに映るお相撲さんはみんなが同じ髪型・同じ体型・同じ格好に見えて、違いが全く分かりませんし、相撲のどこが面白いのだからさっぱり分かりませんでした。

ところがどすこい、日々苦痛だった大相撲中継は意外と早く楽しみへと変わっていききました。まず初めに、少しずつ力士の見分けがつくようになります。そうなると、ついつい応援したくなる力士が現れます。するともう止まりません。だんだんと好きな力士が増えてきて、気がつけばもう大相撲の虜です。

昨年には、念願の両国国技館デビューを果たしました。

奇声を発しながら力士の入り待ちをし、国技館の地下で食べられる相撲部屋特製ちゃんこ鍋を食べ……そこはまさに夢の世界でした。

今年の10月には、10年以上ぶりに高知巡業が開催されるそうです。夢は、最前列を陣取り、押し出されてきた力士に潰されることです。

しもむら るい

姫路赤十字病院での  
一般外科2年間研修報告近森病院  
心臓血管外科 田井 龍太

私は初期研修2年間と、心臓血管外科として後期研修の1年目を近森病院で過ごしました。専門を心臓血管外科と決めていましたが、専門へ進む前に外科専門医を取得する必要がありそのための修練が必要でした。また高知生まれの高知育ちで「井の中の蛙になるな」という心臓血管外科入江部長のおすすめもあり、視野、経験を広めるべく姫路赤十字病院へ2年間研修に出てこの春に戻ってきました。

姫路赤十字病院は一般外科が非常に充実しており、年間1,300件を超える全身麻酔手術が行われていたため、研修として恵まれた環境でした。

私自身としては、2年間で527件の手術に入り、うち184件を執刀医として経験を積むことができました。消化管手術、肝胆膵手術、乳腺手術など幅広い分野で手術、術後をみることができ、多くの知識、技術を得ることができたと思います。

また、姫路赤十字病院は私が赴任する直前に心臓血管外科がちょうど新設され、立ち上げにも携わることができ

▼外科の先生たちと



▲2年間で527件の手術に入る

ました。周囲が、心臓血管外科は初めてという環境で色々難しいこともありましたが、新しいことを始める大変さも学ぶことができました。

もちろん、医学的な知識だけではなく病院の体制、県外の医療事情など高知県、近森病院との違いも知ることができ、同世代の外科の友人ができたことも研修に出たからこそ得られたかけがえのないものです。

研修に際して、高知県から国内留学助成を受けることができ、充実した環境で研修を行うことができたことも、大きかったと思います。

姫路赤十字病院で得た知識や技術を活かしていくだけではなく、吸収したすべてのことを今後の医師人生に役立てていきたいと思っています。

たい りゅうた

## 献血キャンペーン

ありがとうございました。

5月18日(水)

400ml 限定献血 結果

受付された方	85名
献血出来た方	63名
献血出来なかった方	22名
※次回は9月の開催予定	



## 米国心臓病学会 年次学術集会に出席して

社会医療法人近森会  
学術担当理事 土居 義典



4月2日から3日間アメリカ第二の都市シカゴで開催された American College of Cardiology (ACC、米国心臓病学会) 年次学術集会に出席した。ACC は、American Heart Association (AHA) と比べるとアメリカの中堅・若手循環器医の教育に力を入れている。もちろん最先端の研究発表、最新の臨床や研究の方向性を知ることが出来る、全世界から2万人近い循環器医が集まる世界3大国際学会のひとつである。

学会初日から0℃以下に冷え込み、雪もちらつく天候であったが、学会の各会場は超満員で熱気に包まれていた。プログラムもよく練られて準備されており、循環器全体の進歩をバランス良く勉強できる仕組みになっている。アメリカでは敬意をこめて

Mr. Cardiology と呼ばれている Eugene Braunwald 教授は、1898年のレニンの発見に始まる過去100年余りのレニン・アンギオテンシン系の研究の重要なエポックを紹介し、そこから開発された三つの心不全治療薬（利尿薬、ACE阻害薬、β遮断薬）に、新たに今 neprilysin 阻害薬・ARB 合剤が加



わる理由をクリアカットに講演した。インターベンションの大御所 Spencer King 教授の「過去・現在・未来」と題した講演では Andreas Grüntzig らといっしょに仕事をした若い頃をふりかえり、「PCI 領域はほぼやり尽くした」ので、これからは Structural Heart Disease の時代であろうと結んでいた。JACC の編集長 Valentine Fuster 教授司会の丸一日（90分×5回）のシンポジウムでは、この1年間の進歩を各領域の著名な演者が15分～20分程度でレビューを行ったが、昨年のAHA出席後に、当院の循環器内科の先生方に紹介した情報とかなりの部分が重なっていた。Late-Braking Trials のセッションでは、その後 New England Journal of Medicine に次々と掲載されている大規模治験の呈示がなされていた。

今回も早朝からホテルと学会場を往復したのみであったが、scientific mind を刺激された3日間であった。これからも循環器領域の臨床・研究がどのような方向に進むかを楽しみながら、循環器内科の先生方にも新しい情報を feed back したいと思う。

どい よしり

## 四川大学附属華西病院、北京大学第一病院からの見学

### 中国の栄養医師をお迎えして

臨床栄養部  
部長 宮澤 靖

四川大学附属華西病院と北京大学第一病院から栄養医師の胡更教授らご一行を近森病院にお迎えいたしました。胡教授ご一行は、都内で医療用食品の展示会に出席された後、高知まで足を伸ばされて以前よりご希望をいただいております近森会の施設見学と管理栄養士との情報交換のためにご来院されました。

胡教授は6月3日より開催されます「第4回天府臨床栄養学会」の学会長をお勤めになる予定で、その学会に海外招待講演者として私を指名してくださっております。また、ご一緒にお越しくださいました北京大学第一病院の陽教授



も昨年、北京大学での講演以来、半年ぶりにお会いすることができ再会を喜び合いました。

中国では、医師の資格を持った者（栄養医師）が日本でいう「臨床栄養士」と同じような業務をされていて、胡教授は、ご高名な食事療法の専門医です。今回、近森会にお越しいただき興味深く見学され、ご質問をいただきました。

2016年5月17日

中国からの栄養医師に説明する宮澤部長(右)



感想をお聞きすると「病院全体で栄養を大切にしていることが理解できた。医療器具や施設も最先端で驚きの連続であった。中国はこのような設備が整うのはあと何十年も必要になるであろうが、ソフト面ではいち早く追いついてゆきたい。そのために近森会の支援が必要である。私たちが近森会より

り勝っているのはベッド数だけであり大いに学べた」と語っていました。

ちなみに四川大学は4,600床だそうです。日本ではあり得ない病床数、これが中国です。

みやざわ やすし



# 近森会グループ 5 力年計画のすべて



診療支援部  
部長 山崎 啓嗣

## 急性期病院から高度急性期病院へ

近森病院 5 力年計画が終了しました。7 力年前（2009 年 1 月）の合同運営会議の場、「今後 20 年から 30 年先まで良質で効率的な医療に耐えられるハード及びソフトを充実させる必要がある」という近森理事長の話でスタートした計画は、途中、近森リハビリテーション病院の新築、近森オルソリハビリテーション病院の改築、近森病院附属看護学校の改築が加えられ、壮大なグループ全体のプロジェクトへと発展し、当初計画プラス 2 年の歳月をかけて無事完了しました。

近森会グループには、「自由」、「柔軟性」を大切にするといった組織文化があります。今回の近森病院 5 力

年計画では、診療各科、各部署が検討を重ね現場が使いやすい、また連携のとりやすい形を話し合って計画されました。これにより、どの建物においても各フロアの機能分化と動線が確保され、近森らしい機能的な建物になったと思います。

このプロジェクトを以てハード面の整備は終了しました。今後は、ソフト面を中心に「質的向上」に努めていかなければならないと感じています。そのためにわれわれ管理部は、しっかり現場へ足を運び実態に即した支援を行っていきたいと思います。

一連の工事においては、患者さんや地域住民の方々のご理解、ご協力の賜と心から感謝申し上げます。また、各工事を無事故、無災害で施工していただいた設計、施工、協力会社の皆様にも厚くお礼を申し上げます。

やまさき ひろつぐ



▼ 3 階 CCU



▼ 7 階内視鏡センター



▲ 1 階 ER



▼ 2 階専門外来



▼ 1 階 床に道案内線のあった画像診断部受付



▼ 1 階カテーテル室



▼ 総合受付前の大階段（現在は水槽設置場所）



画像診断センター受付

# Before



# 近森病院



▲ 4階 集中系の生体モニタが並ぶICUウォッチルーム



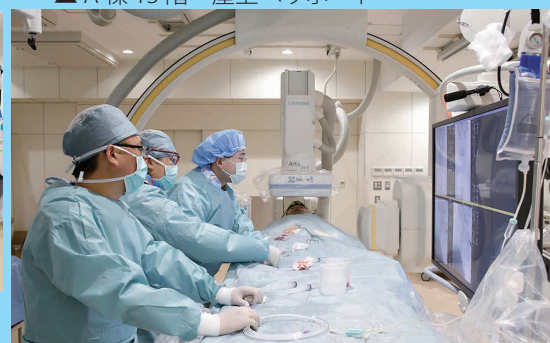
▲ 5階 24床のSCU



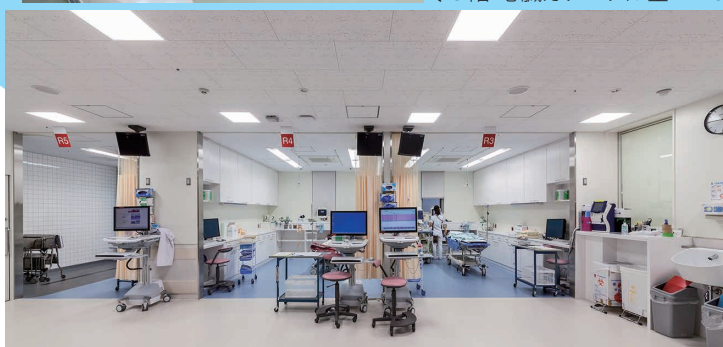
▲ A棟13階 屋上ヘリポート



▲ 3階 心臓カテーテル室 ▲ 3階 内視鏡センター

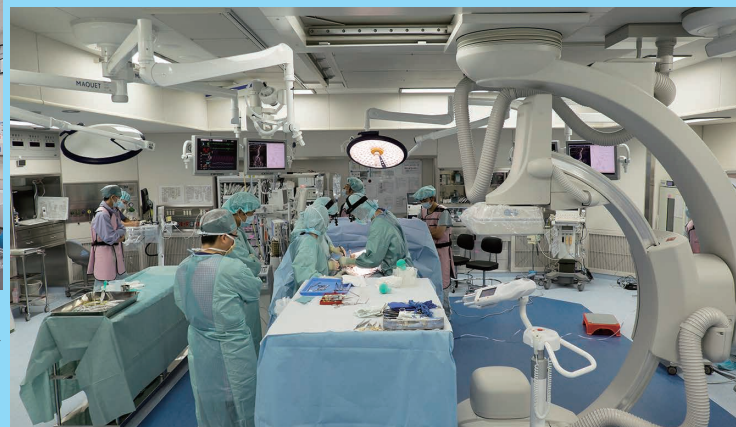


▲ 3階 IVR-CT



▲ 1階 4倍に拡充されたER

2階 ハイブリッド手術室▶



## After

### 5 年計画の流れ

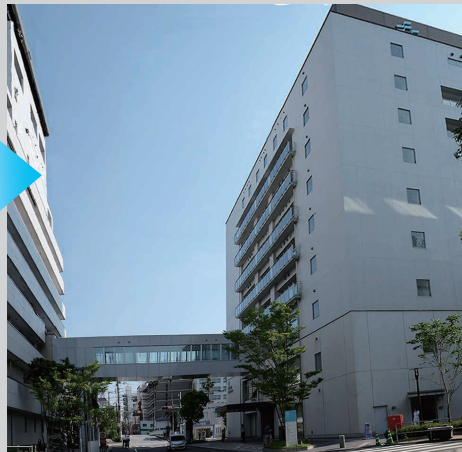
1	立体駐車場	2010/11/10 完成	同日オープン
2	管理棟	2011/04/15 完成	引越 04/15・16
3	外来センター	2011/10/07 完成	引越 10/22～11/26 内科医局/総合医局/専門外来/整形医局/生理検査
4	北館病棟	2012/04/02 完成	引越 04/15・16
5	管理棟別館	2012/07/02 完成	引越 07/07・08
6	B、C棟(3～6階)	2012/07/31 完成	引越 08/04～25 3階検査/4階集中病棟/OP室(5～11)
7	北館、総合心療センター接続工事	2013/12/20 完成	引越 12/21
8	A棟	2014/08/15 完成	引越 08/16～09/01 5～8階一般病棟/集中病棟/検査部/OP室(1～4)/ヘリポート離着陸訓練、利用開始
9	外来センター二次改修(一期)	2014/10/30 完成	引越 11/01 6階
10	B、C棟二次改修(一期)	2014/10/17 完成	引越 10/18・19 1階総合診療科・B棟3階
11	B、C棟二次改修(二期)	2014/10/31 完成	引越 11/01 C棟3階(内視鏡センター)
12	B、C棟二次改修(三期)	2014/12/05 完成	引越 12/06 5、6階一般病棟・7階厨房
13	外来センター二次改修(二期)	2014/12/19 完成	引越 12/24・25 7階内科医局拡張
14	A棟二次改修	2015/01/23 完成	5～8階一般病棟
15	外来センター二次改修(三期)	2015/01/30 完成	引越 01/31 3階読影室
16	B、C棟エレベーター改修	2015/03/02 完成	3連エレベーター+業務用エレベーター
17	B、C棟二次改修(四期)	2015/04/20 完成	7階透析室
18	近森リハビリテーション病院新築	2015/08/15 完成	引越 08/29～08/30
19	近森オルソリハビリテーション病院改修	2016/01/29 完成	引越 01/30・31
20	附属看護学校改築	2016/05/14 完成	引越 05/13～15



# 近森会グループ 5 年計画

## 外来センター

2011年10月7日完成 新築



●カルテ庫だった香川ガラス倉庫とマンションから、9階建ての紹介予約専門の外来センターとして生まれ変わった。3階には本館A棟との連絡橋ができた。

## 近森病院



## 近森教育研修センター 近森病院附属看護学校

2016年5月14日完成 改築移転



●オルソ病院を改築し、1階～5階が近森病院附属看護学校、6階～8階は近森教育研修センターとして機能する予定。

## Before



## 近森オリソリハビリテーション病院

2016年1月29日完成 改修移転



●リハ病院跡を改修して移転。本館との動線が飛躍的によくなった。移転により念願の個室も完備された。



## 近森リハビリテーション病院





# ビフォー ▶▶▶ アフター

2014年8月15日完成 新築・改修



## 近森病院北館

2012年4月2日完成 新築



● 病棟だった時代を経て、診療情報管理室、院内保育、病理検査ほかで使用していたが、新しく北館病棟として生まれ変わった。



## After

2016年5月現在



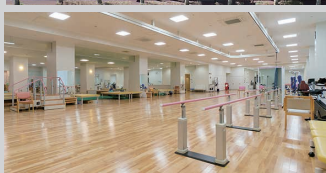
## 管理棟別館

2012年7月2日完成 新築

● 医局棟らを廃して新築された本体機能を補完する施設。備蓄倉庫、医療安全管理室、技士控室、剖検室などが配される。



2015年8月15日完成 新築移転



● 江ノ口川南向かい、ボウルジャンボ後に新築移転。1000m<sup>2</sup>を超えるリハビリ訓練室や病棟などが一新された。

## 管理棟

2011年4月15日完成 新築移転



● 結婚式場だった建物からサンルートホテル跡地へ。6室からなる会議室フロアや大幅に拡張された保育室そとなど診療のバックアップ体制を整えた。





## ニューフェイス

①所属②出身地

③最終出身校

④家族や趣味のこと、自己アピールなど

### 2016年4月の診療数 システム管理室

#### 近森会グループ

外来患者数	18,276人
新入院患者数	928人
退院患者数	979人

#### 近森病院（急性期）

平均在院日数	14.89日
地域医療支援病院紹介率	71.05%
地域医療支援病院逆紹介率	150.17%
救急車搬入件数	571件
うち入院件数	284件
手術件数	403件
うち手術室実施	289件
うち全身麻酔件数	168件

### おめでとう

#### ● 2016年4月 県外出張件数 ●

件数 53件 延べ人数 96人

### 編集室通信

私の足の関節は、曲げるとポキポキなる。痛くないので問題は感じなかったが、整体のお店でなると店員さんから氣遣われる。やっぱりめずらしい？と思っていたところ、嵐の二宮君もなるというのをTVで見た。広い世界、同じ体質の人はいるんだなと心強く思ったが、結局、対策はその番組でも見いだされなかった。とりあえず膝鳴り仲間を見つけたので、今後彼の膝に注目したい。 ざきち

### 図書室便り (2016年4月受入分)

- 肘関節手術のすべて / 今谷潤也 (編)
- 医学生からの診断推論 / 山中克郎
- 内科診断学第3版 / 福井次矢 (他編)
- コモンディーズ診療指針 / 草場鉄周 (専門編)
- CPX・運動療法ハンドブック心臓リハビリテーションのリアルワールド改訂3版 / 安達仁 (編著)
- 実践シャントエコー / 春口洋昭
- 体表臓器超音波診断ガイドブック皮膚・皮下・血管・神経・筋 / 尾本きよか (編)
- 看護管理実践計画書標準テキスト職場を改善する課題解決術 / 佐藤美香子

#### 《別冊・増刊号》

- 別冊・医学のあゆみ脳卒中 update / 北川一夫 (編)
- 別冊・医学のあゆみ補完代替医療とエビデンス / 大野智 (他編)
- 別冊・医学のあゆみ感染症最前線とグ

ローバル・ヘルス / 永井美之 (編)

- 別冊整形外科 No.69 足関節・足部疾患の最新治療 / 松田秀一 (監)
- 画像診断別冊 KEY BOOK シリーズわかる! 役立つ! 消化管の画像診断 / 山下康行 (編著)
- 臨床栄養別冊 JCN セレクト 11 健康寿命延伸をめざす栄養戦略フレイル・疾病重症化予防のために / 葛谷雅文 (編)
- 関節外科 Vol.35 4月増刊号新専門医制度に備えた必修修分野の教え方・学び方 / 田中康仁 (企画・編)
- HEART nursing 2016 年春季増刊ナースがわかる&はなせる心不全まるわかりBOOK / 佐藤直樹 (監)

#### 《視聴覚資料》

- Audio-visual Journal of JUA Vol.22 No.2 / 日本泌尿器科学会 (監)
- ICU 看護アセスメントと生体侵襲 / 道又元裕 (他制作)

### 人の動き 敬称略

人物ルポ 309 ● エームサービス(株)四国事業部 第一地区地区支配人 中島和友さん  
グループ支配人 (近森病院、オルソリハ病院、職員食堂担当) 沼 徹也さん / (リハ病院担当) 岡田旬矢さん

## 力を合わせ、効果的効率的で、 しかも楽しいフードサービスを!

### 昨春、再結集のお三方

NST(栄養サポートチーム)の意義は、スタッフはむろん患者さん、ご家族にもずいぶん浸透しているだろう。この「最良の栄養管理を、治療や早期の回復に繋げる NST 活動」が、近森会で始まって、すでに 13 年になる。

日本で初めて病院食の適温適時サービスを給食事業に採り入れた実績を持つエームサービスと、近森会との関わりはこの NST 開始よりさらに 3 年さかのぼる長いおつきあいになる。

現在、高知・徳島地区を管轄する中島地区支配人を筆頭に、近森病院、オルソリハ病院、職員食堂を沼支配人、リハ病院を岡田支配人が、管理している。先進的な取り組み事例が多い臨床栄養部にとっては「問題解決能力の高さと臨機応変の対応力」が期待されて、過去に近森会での勤務経験を持つお三方が、昨春の厨房リニューアルに向けて、再結集、再着任する運びとなった。

### 美味しい食事を回復への近道に

中島 和友さん 小学生のとき家族のために約 30 人分、「ミートボールと茄子のカレーを、頼まれもしないのに作った」というお子さまコック長の経歴を持つ中島さんは、「仕事が趣味の人」と評されるほど目まぐるしい日々を送っている。

この中島さんの業務内容は、ひとことでいえば「労務管理」だそうだが、要するに「なにが患者さんや病院スタッフの満足に繋がるかをフードサービスを核として探すこと」である。だから、「自分ひとりの時間がほとんどない」ほどの仕事量が、悦びにさえ繋がっているようにも見える。

さらに、厨房にも立つ。「料理がもともと好き」だから、本来の業務の合間を縫ってでもやりたいようだが、厨

房に立つことでスタッフの機微にも触れ、本来の業務にも活きるのだろう。



▲ハビリテーリングセンター花見弁当の日、得意の薫焼きタタキを実演中の中島さん

中島さんは、「管理栄養士として色々なジャンルがあるなか、病院での食事提供に携わりたいと思ったのは、病気で弱られている身体には、美味しい食事をお召し上がりいただくことが回復への近道だと思ったし、その気持ちは今も志の根底にある」と語る。

### コミュニケーションと役割分担の徹底

沼 徹也さん エームサービスの業務は給食、職員食堂など多岐に亘るため、沼さん、岡田さんには中島地区支配人へ、現場のナマの声を伝える役割も担っている。方向づけられた業務意向を浸透させるには、個性も年齢層も様々なスタッフとのコミュニケーションが欠かせない。



▲近森会グループの調理部門の一翼を夫婦で担う沼さん一家

近森会だけではなく四国地区の広いエリアを担当する中島さんだからこそ、冷静かつ俯瞰的に、「病院からの要望には応えつつも、会社の方針をくまなくスタッフに伝える」ことができるだろう。それが中島さんの役割ともいえ、常に潤滑油となるべく、その努力も惜しまない。

### 栄養士への道

岡田 旬矢さん 両支配人の栄養士



を志した動機について最後に語ってもらった。まず岡田さんは、「食べることが好きなので、食に関

する仕事がしたいという思いがありました。調理師と栄養士で迷っていたのですが、家族が B 型肝炎など制限のある食事をしており、栄養について理解し、病状にあった食事がどういふものか分かれば、食事のバリエーションを増やすことも出来る」との思いから、栄養士を目指したそう。



▲いまのところ(笑)は、ひとり娘。もうすぐ 5 歳になります!

一方、沼さんは「学校の給食室で、大きな鍋をかき回すという行為をしたかった(笑)」と、一見、大まじめな表情。ハビリテーリングセンター栄養部で責任者を務める妻について、その料理の腕前は、「ボクからはいえません!(笑)」とかで、楽しい食卓が浮かぶようだ。

中島地区支配人は、「業務命令として、沼家は家族写真にしよう!(笑)」と。「エ〜!? ボクだけ家族が出るんですか!？」と、なんとも楽しい一幕だった。



# 県からの派遣要請にいち早く対応

近森病院救急科  
科長 井原 則之



地域医療連携センター  
医事課〈調整員〉  
北川 真也



近森病院救命救急センター  
〈看護師〉  
齋坂 美賀子



近森病院 7A 病棟  
〈看護師〉  
北川 知子



▲▼ DMAT 新ユニフォーム



4月14日、16日に熊本市・益城町・阿蘇周辺で震度7を記録する地震が起き、16日午前6時に高知県からDMAT（災害派遣医療チーム）の派遣要請がありました。

即時にDMATメンバーが病院に集まり、9時20分にDMAT専用車両で病院から熊本県に出動し、同日19時から熊本県菊池市周辺の医療対応を開始しました。

17日夕からは阿蘇市に移動し、阿蘇地域の病院支援・避難所対応などを行い、全国から参集した後続のDMATに引き継いで、20日に帰着しました。  
いはら のりゆき

**近森会グループ**  
職員数  
**2,036人** (2016年4月1日現在)  
委託を含む実質的な職員規模は2,393人となり、多くのスタッフでチーム医療を展開し、日々患者さんをサポートしています。

**近森病院**  
救急車搬入件数  
**6,413件**  
院内救急車出動件数 91件  
ドクターカー 52件  
ドクターヘリ受入件数 82件

**近森病院**  
手術件数  
**5,284件**  
急性期医療に取り組む近森病院では、一刻を争う患者さんが多く、日曜祝日関係なく、1日当たり平均14件の手術数です。

**近森病院**  
延べ外来患者数  
**154,538人**  
地域医療支援病院として地域に密着した医療を展開しています。外来患者さんは1日当たり平均423人（土日祝日を含む）です。

**近森病院**  
延べ入院患者数  
**144,542人**  
急性期病院として一般病床437床（許可病床452床）を確保。常時入院中患者さんは1日当たり平均396人。

**数字でみる近森会グループ**  
**2015年度の実績**  
2015年4月～2016年3月  
近森病院の実績は精神科を除く

**近森病院**  
退院患者数  
**9,362人**  
近森病院に入院されている患者さんが1年間に退院された数字です。平均在院日数は15.38日です。

**近森会グループ**  
延べ見学者数  
**434人**  
見学受け入れ件数は87件。見学者数はやや減少しましたが、申込件数は年々増加しています。（実習や部門での個別受入は除く）

**精神科グループ**  
総合心療センター  
精神科1日平均外来患者数 **138人**  
デイケアパティオ復職率76% (23名)  
デイケアメンタル就労率28.3% (15名)  
ラポールちかもり月平均285件訪問

**近森リハビリテーション病院**  
在宅復帰率  
**74.7%**  
重症患者割合：日常生活機能評価10点以上 35.0% / 重症患者改善率 47.9% (日常生活機能評価点数4点以上改善)

**近森オルソリハビリテーション病院**  
病床稼働率  
**97.5%**  
在宅復帰率  
地域包括ケア病床 85.1%  
回復期病床 82.6%  
職員数136名(2016年3月31日現在)